

2005年秋（9～11月）の東北地方の天候

- ・高温
- ・東北太平洋側の少雨
- ・東北太平洋側の10月の寡照、11月の多照

（1）2005年秋（9～11月）の概況

11月中旬頃に強い寒気が一時的に南下したものの、その他の期間は寒気が継続的に南下することなく、高温傾向で推移した。降水量は9月に秋雨前線がほとんど出現しなかったことや、11月に低気圧が発達しながら北東進することが少なかったことから、秋合計では東北太平洋側を中心に平年よりも少なかった。また東北太平洋側の日照時間は、10月は日本の北を通過する高気圧からの湿った東よりの風の影響でかなり少なくなり、11月は気圧の谷の影響を受けることが少なかったため、かなり多くなった。

3か月平均気温は東北地方で高い。3か月降水量は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で少ない。3か月間日照時間は東北日本海側で多く、東北太平洋側で平年並。

（2）各月の天候経過

9月：高気圧に覆われて晴れる日が平年より多く、低気圧や前線は東北地方の北を通過することが多かった。また、この時期に見られる秋雨前線はほとんど出現しなかった。このため、気温は平年を上回る日が多く中旬までは残暑が厳しかった。下旬になると東北地方の北を中心を持つ高気圧の影響で、一時的に東北太平洋側を中心に気温が平年を下回る日もあった。

月平均気温は、東北地方で高い。月降水量は、東北北部で平年並、東北南部で少ない。月間日照時間は、東北北部で平年並、東北南部で多い。

10月：寒気の南下は一時的で、期間を通して気温の高い日が多かった。山形では月平均気温の高い値の第2位を、新庄、秋田、福島では第3位を更新した。高気圧が日本の北を通過することが多かったため、東北太平洋側では湿った東よりの風が吹き込み日照時間が平年よりかなり少なかった。大船渡では月間日照時間の少ない値の第2位を、白河では第3位を更新した。

月平均気温は、東北地方で高い。月降水量は、東北日本海側で多く、東北太平洋側で平年並。月間日照時間は、東北日本海側で平年並、東北太平洋側でかなり少ない。

11月：上旬は高気圧に覆われ晴れて気温の高い日が多かったが、東北日本海側の北部で気圧の谷の影響により雨の日があった。中旬は冬型の気圧配置が続き、寒気の影響で気温の低い日が多く、東北日本海側では曇りや雨または雪の日が多く、東北太平洋側では晴れの日が多かった。下旬は冬型の気圧配置が緩んで、気圧の谷が数日の周期で通過し、東北日本海側は曇りや雨または雪のところが多かったが、東北太平洋側では気圧の谷の影響が小さく晴れの日が多かった。このため、平均気温は上旬と下旬は高温、中旬は低温と変動が大きく、東北太平洋側の日照時間は平年に比べかなり多かった。小名浜では月間日照時間の多い方からの1位を更新した。

平均気温は東北地方で平年並。月降水量は東北日本海側で多く、東北太平洋側で少ない。月間日照時間は、東北日本海側で平年並、東北太平洋側でかなり多い。

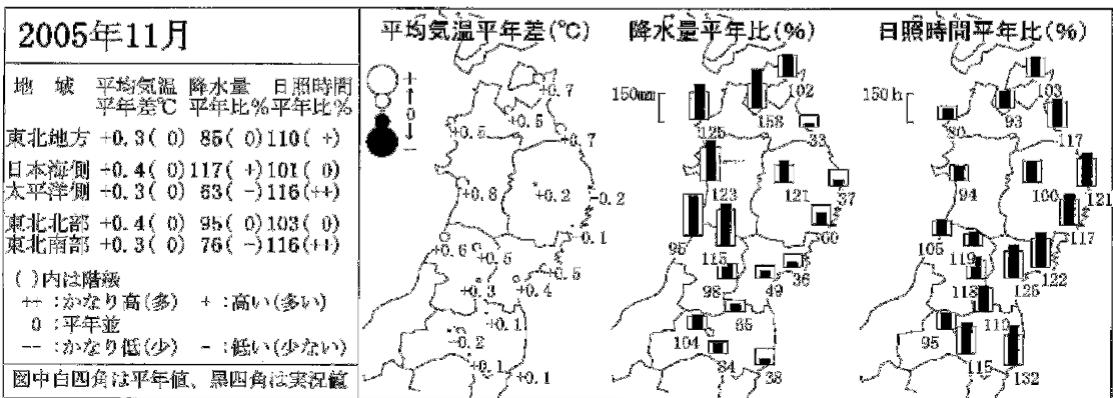
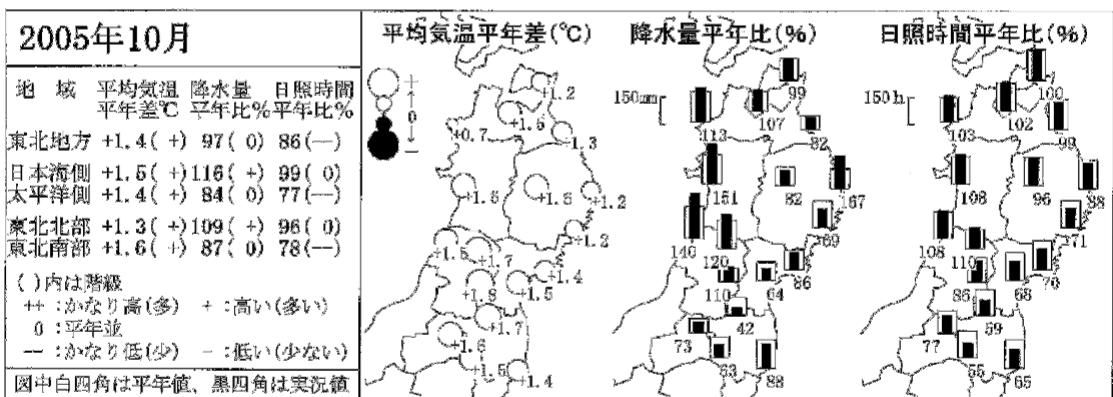
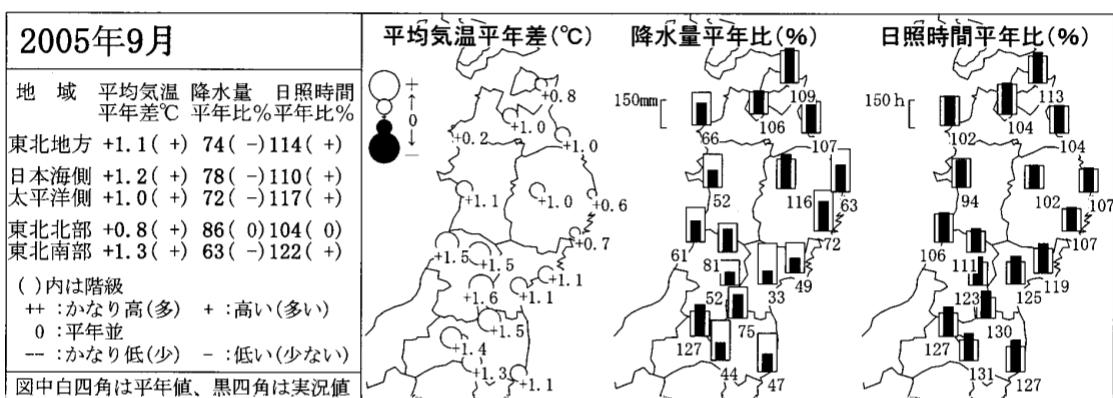
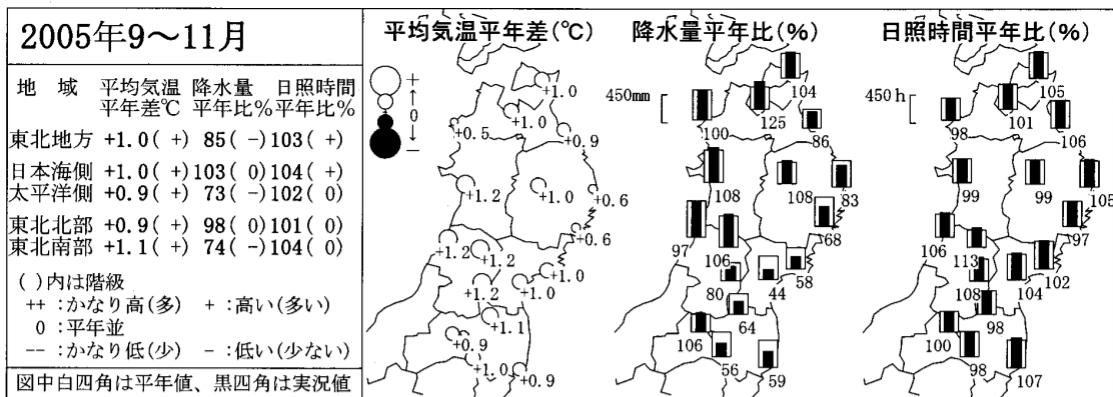
注）気候統計値は、東北地方にある17地点の気象台、測候所、特別地域気象観測所の観測値より求めています。

細分地域については2ページ目脚注を参照して下さい。

平年値の統計期間は1971-2000年です。階級区分については、3ページ目脚注を参照して下さい。

本件に関する問い合わせ：仙台管区気象台技術部気候・調査課統計係（電話：022-297-8110）

(3) 2005年秋(9~11月)の季節・月平均(合計)値の平年差(比)



注) 東北日本海側: 青森県津軽、秋田県、山形県、福島県会津

東北太平洋側: 青森県下北・三八上北、岩手県、宮城県、福島県中通り・浜通り

東北北部: 青森県、秋田県、岩手県

東北南部: 宮城県、山形県、福島県

(4) 2005年秋(9~11月)の気候表

地 点 名	平均気温(平年差)		階級	降水量(平年比)		階級	降水日数	日照時間(平年比)	階級
	()	()		(mm)	(%)				
青 森	13.6	(+1.0)	+	447.5	(125)	+	39	408.1	(101)
深 浦	13.8	(+0.5)	+	487.5	(100)		39	355.6	(98)
む つ	13.1	(+1.0)	+	421.0	(104)		36	432.3	(105)
八 戸	13.6	(+0.9)	+	262.5	(86)		24	471.0	(106)
秋 田	14.9	(+1.2)	+	561.5	(108)	+	46	385.7	(99)
盛 岡	12.9	(+1.0)	+	376.0	(108)	+	40	388.1	(99)
大 船 渡	14.4	(+0.6)	+	318.5	(68)	-	28	393.7	(97)
宮 古	13.7	(+0.6)	+	353.5	(83)		21	445.7	(105)
仙 台	15.8	(+1.0)	+	168.5	(44)	- *	20	428.7	(104)
石 卷	15.1	(+1.0)	+	194.0	(58)	- *	21	452.2	(102)
山 形	14.6	(+1.2)	+	233.5	(80)	-	35	384.1	(108)
新 庄	13.7	(+1.2)	+ *	530.0	(106)		51	313.2	(113)
酒 田	15.9	(+1.2)	+	569.0	(97)		49	397.1	(106)
福 島	15.9	(+1.1)	+	209.0	(64)	- *	24	373.1	(98)
若 松	14.3	(+0.9)	+	302.5	(106)		32	335.0	(100)
白 河	14.3	(+1.0)	+	220.5	(56)	- *	26	392.3	(98)
小 名 浜	16.9	(+0.9)	+	264.0	(59)	- *	28	482.9	(107)

(注)1. 平年値は1971~2000年の資料から求めた。

2. 「階級」の記号の意味は以下のとおり。

±:高(多い) 0:平年並 -:低(少ない)

各階級の区分値は、1971～2000年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる（各階級が10個ずつになる）ように決めた。

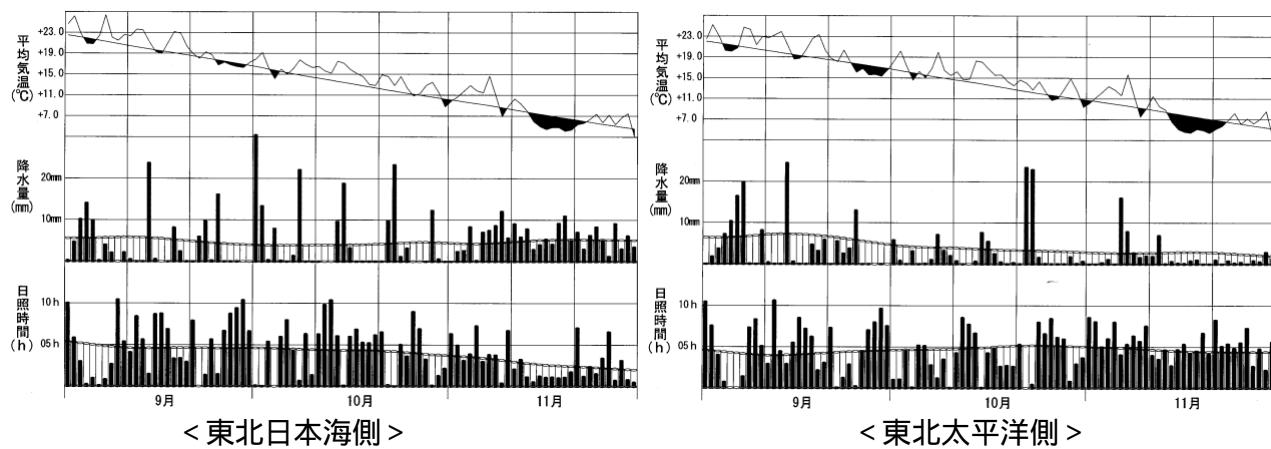
また、値が 1971～2000 年の観測値の上位または下位 10% に相当する場合には階級の「+ -」に * を付加した。この場合には

と表現できる

3. 値の横に) や] がある場合には、3か月別値を求める際に使用したデータ（月別値）に欠測等が含まれていることを示す。) 付きの値（準完全値）は通常のものと同様に扱うことができるが] 付きの値（資料不足値）については、値の下に記載した統計月数（統計に用いた、品質が十分な月別値の数）を参考にして、品質を確かめてから使用されたい。

なお、月別値がすべて欠測のため値が求められない場合は「×」とした。

(5) 2005 年秋 (9 ~ 11 月) の日別経過図



気象官署の日別観測値と日別平年値の地域平均（気温：実線、降水量・日照時間：黒い円柱と白抜き円柱）

(6) 2005 年秋 (9~11 月) の極値・順位の更新
(季節平均気温、季節降水量、季節日照時間の 3 位以内のみ)

3 か月間降水量 少ない方からの極値・順位更新

順位	地点名	降水量(mm)	これまでの最小<mm・起年>	統計開始年	平年値 (mm)
3 位	仙台	168.5	157.5(1995)	1927 年	384.3
	白河	220.5	183.5(1984)	1940 年	392.9
	小名浜	264.0	224.5(1984)	1910 年	446.6

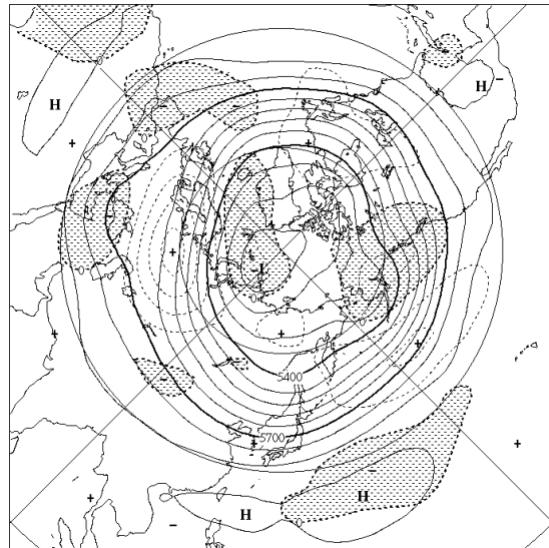
(7) 各月の極値更新
(月平均気温、月降水量、月間日照時間の 1 位のみ)

月間日照時間多い方からの順位更新

月	地点名	観測値(h)	これまでの最大 h・起年	統計開始年	平年値(h)
11 月	小名浜	210.9	206.4(1995)	1910	160.2

(8) 北半球の大気の流れ

9 月 1 日 ~ 11 月 28 日の平均 500hPa 高度・平年偏差図を見ると、ヨーロッパからロシア、北太平洋、北アメリカ大陸北東部など中緯度帯を中心に正偏差域が広がっており、中緯度域への寒気の南下が少なかったことを示している。日本付近も正偏差域に覆われており気温の高かったことに対応する。



2005 年 9 月 1 日 ~ 11 月 28 日の平均 500hPa
高度・平年偏差図
等高度線 : 60m 毎、偏差 : 30m 毎、陰影部 : 負偏差